

— 港湾労働安全強調期間行事 —

令和元年度 主要港督励巡視 結果報告書



港湾貨物運送事業労働災害防止協会

令和元年 8 月 30 日

港湾貨物運送事業労働災害防止協会

会長 藤木 幸夫 殿

令和元年度主要港督励巡視団

団長 笹田 照近

令和元年度主要港督励巡視結果の報告について

令和元年度主要港督励巡視について、令和元年 7 月 23 日から同年 7 月 26 日まで 4 日間にわたり、横浜港、名古屋港、神戸港及び博多港の 4 港を実施いたしましたので、その結果を報告いたします。

目 次

I 令和元年度主要港督励巡視の概要

1 令和元年度主要港督励巡視実施要領	1
2 令和元年度主要港督励巡視団員名簿	3
3 各港発表者及び書記役	4
4 各港班別名簿	5
5 重点点検項目	9

II 結団式

1 概要	13
2 会長挨拶	15
3 団長挨拶	17

III 巡視結果

1 横浜港	19
2 名古屋港	25
3 神戸港	32
4 博多港	38

IV 解団式	46
--------------	----

V 団員写真	48
--------------	----

I 令和元年度主要港督励巡視の概要

1 令和元年度主要港督励巡視実施要領

(1) 趣 旨

主要港督励巡視は、港湾労働安全強調期間行事の一環として、督励巡視団が主要港の安全衛生管理体制、港湾荷役作業及び労働災害防止活動の実態を全国的視野に立って巡視し、指導、意見交換等を行うことにより、各主要港における労働災害防止対策の推進、安全衛生水準の向上及び労働災害防止意識の高揚を図り、港湾貨物運送事業における労働災害の減少に資することとするものである。

(2) 日程、巡視対象港等

実施日	巡視対象港	担当総支部・支部
7月23日(火)	横浜港	神奈川総支部・横浜支部
7月24日(水)	名古屋港	東海総支部・名古屋支部
7月25日(木)	神戸港	兵庫県総支部・神戸支部
7月26日(金)	博多港	九州総支部・博多支部

(3) 巡視対象

巡視の対象は、船内荷役作業、沿岸荷役作業、はしけ運送作業、いかだ運送作業、検数・検量作業及び港湾運送関連作業とする。

(4) 巡視団の編成

巡視団長は、会長が任命する。

巡視団員は、各総支部長からおおむね2名の推薦を受け、協会本部が船内班、沿岸班に編成する。

(5) 巡視団員の集合地

横浜港運会館：神奈川県横浜市中区山下町 279 電話 045-201-3295

(本部連絡先 電話 03-3452-7201)

(6) 結団式・解団式

結団式：7月23日(火) 横浜港督励巡視に先立ち、前記(5)の場所で結団式を行う。

解団式：7月26日(金) 博多港巡視結果の検討会議終了後、解団式を行う。

(7) 巡視の方法

督励巡視に関する各港共通の行事は、次のとおりとする。

- ① 港湾荷役作業現場の巡視計画の打合せ
- ② 港湾荷役作業現場の巡視
- ③ 港湾災防各総支部・支部の安全衛生活動状況の説明
- ④ 現地関係者と巡視団員・同行者との巡視結果の検討会議・講評
- ⑤ 厚生労働省・所轄労働局担当官による巡視港に対する講評と巡視団員に対する講評・指導

(8) 説明資料の作成

担当する総支部・支部において、督励巡視対象港における安全衛生活動状況等の説明資料として、次のものを作成する。

- ① 労働災害の発生状況（平成 30 年 1 月～12 月及び平成 31 年 1 月～ 6 月）
- ② 安全衛生活動状況（平成 30 年 1 月～12 月及び平成 31 年 1 月～ 6 月）

(9) 墜落制止用器具の装着

本年 2 月から、法改正により高さ 6.75 メートルを超える高所作業の場合、フルハーネス型の装着が義務づけられたことを踏まえ、本年度から巡視の際、船内班、沿岸班問わず団員全員フルハーネス型墜落制止用器具を装着して巡視する。

(10) 巡視結果の発表

巡視結果は、各港とも検討会議を経て、督励巡視結果発表等会議において発表するが、本年度から、検討会議の際、団員の意見についてパソコンを使用してまとめ、督励巡視結果発表等会議では、プロジェクターを使用し、スクリーンに好事例や指摘箇所等の写真を投影して発表する。

(11) 結果報告書

協会本部において、督励巡視状況を取りまとめて、「主要港督励巡視結果報告書」を作成し、団長から会長に提出する。

2 令和元年度主要港督励巡視団員名簿

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名
1	団長	笹田照近	(株)笹田組	代表取締役社長
2	北海道	小場照夫	三ッ輪運輸(株)	現業部第三事業所職長
3		伊藤和弘	ナラサキスタックス(株)	港運部作業監督
4	東北	佐々木貞之	小名浜海陸運送(株)	営業部港運営業第二課長
5		相澤武浩	三陸運輸(株)経営本部総務部	安全衛生管理室課長
6		中田孝	秋田海陸運送(株)	現業課監督
7	日本海	齊藤友康	(株)リンコーコーポレーション	CY業務部次長
8		景山博幸	日本通運(株)富山支店	富山港事業所長
9	千葉	原山耕一	日本トランスシティ(株)運輸事業部	鹿島支店営業課長
10		野口栄一	鹿島港湾運送(株)安全管理部	参事兼安全課長
11	東京	鎗田好正	山九(株)東京支店	お台場物流グループ所長
12		住山広志	(株)山九海陸京浜事業部港運部	東京港運作業課・課長
13	神奈川	金子武志	第一船舶企業(株)横浜支店	係長
14		尾朝錠司	(株)日新京浜支店業務課沿岸作業所	主管
15		佐藤春男	(株)日新京浜支店第四課川崎営業所	所長
16	東海	相羽実	愛知海運(株)蒲郡カンパニー	カンパニー長
17		恒川良太	(株)フジトランスコーポレーション	安全衛生推進部主任
18	大阪	栗田佳宜	富栄運輸(株)	専務取締役
19		田中利之	(株)海陸運輸公社	業務部部長
20	兵庫県	近藤和則	(株)上組神戸支店	現業部副部長
21		木戸伸行	日栄運輸(株)	安全管理室室長兼課長
22	中国	角石智教	日本通運(株)広島海運支店	港運事業センター所長
23		村上武	辰巳物流(株)	港運部課長代理
24	四国	松本忠士	関西運送(株)	代表取締役
25	九州	岸本拓三	東洋埠頭(株)博多支店	営業所所長代理
26		福田康博	佐世保港湾運輸(株)	営業部作業課班長
27	沖縄	赤嶺拓哉	大共港運(株)	常務取締役
28		與那嶺仁太	北部港運(株)	作業部係長
29	本部	白川欽也	港湾労災防止協会本部	業務・技術管理部長
30		櫻井恵治	港湾労災防止協会本部	業務部次長・広報課長
31		佐藤祐輝	港湾労災防止協会本部	技術管理課長・主任安全管理士
32		村田健一	港湾労災防止協会本部	東京総支部駐在安全管理員
33		宮内俊昌	港湾労災防止協会本部	大阪総支部駐在安全管理員

3 各港発表者及び書記役

(1) 発表者

- ① 巡視開始時の指差唱和
- ② 巡視後の巡視結果検討会議の司会
- ③ 巡視結果発表等会議における発表（プロジェクターを使用し、スクリーンに好事例や指摘箇所等の写真を投影して説明）

(2) 書記役

班別検討会議における団員の意見の取りまとめ（P Cを使用）

港	役割	船内	沿岸
横浜港 (7月23日)	発表者	大阪総支部 田中団員	兵庫県総支部 近藤団員
	書記役	中国総支部 村上団員	東海総支部 恒川団員
名古屋港 (7月24日)	発表者	日本海総支部 景山団員	四国総支部 松本団員
	書記役	九州総支部 岸本団員	神奈川総支部 尾朝団員
神戸港 (7月25日)	発表者	東京総支部 住山団員	千葉総支部 野口団員
	書記役	神奈川総支部 佐藤団員	沖縄総支部 赤嶺団員
博多港 (7月26日)	発表者	北海道総支部 伊藤団員	東北総支部 佐々木団員
	書記役	日本海総支部 齊藤団員	東海総支部 相羽団員

4 各港班別名簿

横浜港 7月23日(火)

● 船内班

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	団長	笹田照近	(株)笹田組	代表取締役社長	
2	北海道	小場照夫	三ッ輪運輸(株)	現業部第三事業所職長	A
3	東北	佐々木貞之	小名浜海陸運送(株)	営業部港運営業第二課長	B
4	日本海	景山博幸	日本通運(株)富山支店	富山港事業所長	C
5	千葉	野口栄一	鹿島港湾運送(株)安全管理部	参事 兼安全課長	D
6	東京	住山広志	(株)山九海陸京浜事業部港運部	東京港運作業課・課長	E
7	神奈川	金子武志	第一船舶企業(株)横浜支店	係長	A
8	東海	相羽実	愛知海運(株)蒲郡カンパニー	カンパニー長	B
9	大阪	田中利之	(株)海陸運輸公社	業務部 部長	発表
10	兵庫県	木戸伸行	日栄運輸(株)	安全管理室 室長兼課長	C
11	中国	村上武	辰巳物流(株)	港運部課長代理	書記
12	九州	岸本拓三	東洋埠頭(株)博多支店	営業所所長代理	D
13	沖縄	赤嶺拓哉	大共港運(株)	常務取締役	E
14	本部	山本靖彦	港湾労災防止協会	事務局長	
15		佐藤祐輝	港湾労災防止協会本部	技術管理課長・主任安全管理士	
16		宮内俊昌	港湾労災防止協会大阪総支部駐在	安全管理員	
17	来賓	村山誠	厚労省労働基準局安全衛生部	部長	
18		北邨勇太	厚労省労働基準局安全衛生部計画課	係官	
19		寺島友子	厚労省労働基準局安全衛生部安全課	副主任中央安全専門官	
20		高保純樹	厚労省労働基準局安全衛生部安全課	係官	
21		久保田晴香	厚労省労働基準局安全衛生部安全課	係官	
22		吉谷真治	神奈川労働局	労働基準部長	
23		石井登	神奈川労働局労働基準部	安全課長	
24		川口園子	横浜南労働基準監督	第3方面主任監督官	

● 沿岸班

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	北海道	伊藤和弘	ナラサキスタックス(株)	港運部作業監督	A
2	東北	相澤武浩	三陸運輸(株)経営本部総務部	安全衛生管理室課長	B
3		中田孝	秋田海陸運送(株)	現業課監督	C
4	日本海	齊藤友康	(株)リンコーコーポレーション	CY業務部次長	D
5	千葉	原山耕一	日本トランスシティ(株)運輸事業部	鹿島支店営業課長	E
6	東京	鎗田好正	山九(株)東京支店	お台場物流グループ所長	A
7	神奈川	尾朝錠司	(株)日新京浜支店業務課	沿岸作業所主管	B
8		佐藤春男	(株)日新京浜支店第四課	川崎営業所所長	C
9	東海	恒川良太	(株)フジトランスコーポレーション	安全衛生推進部主任	書記
10	大阪	栗田佳宜	富栄運輸(株)	専務取締役	D
11	兵庫県	近藤和則	(株)上組神戸支店	現業部副部長	発表
12	中国	角石智教	日本通運(株)広島海運支店	港運事業センター所長	E
13	四国	松本忠士	関西運送(株)	代表取締役	A
14	九州	福田康博	佐世保港湾運輸(株)	営業部作業課班長	B
15	沖縄	與那嶺仁太	北部港運(株)	作業部係長	C
16	本部	白川欽也	港湾労災防止協会本部	業務・技術管理部長	
17		櫻井恵治	港湾労災防止協会本部	業務部次長	
18		村田健一	港湾労災防止協会東京総支部駐在	安全管理員	
20	来賓	古川朝美	鶴見労働基準監督署	第3方面主任監督官	
21		石井俊安	横浜北労働基準監督署	第4方面主任監督官	

名古屋港 7月24日(水)

● 船内班

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	北海道	小場照夫	三ッ輪運輸(株)	現業部第三事業所職長	A
2	東北	佐々木貞之	小名浜海陸運送(株)	営業部港運営業第二課長	B
3	日本海	景山博幸	日本通運(株)富山支店	富山港事業所長	発表
4	千葉	野口栄一	鹿島港湾運送(株)安全管理部	参事 兼安全課長	C
5	東京	住山広志	(株)山九海陸京浜事業部港運部	東京港運作業課・課長	D
6	神奈川	金子武志	第一船舶企業(株) 横浜支店	係長	E
7	東海	相羽実	愛知海運(株)蒲郡カンパニー	カンパニー長	A
8	大阪	田中利之	(株)海陸運輸公社	業務部部長	B
9	兵庫県	木戸伸行	日栄運輸(株)	安全管理室 室長兼課長	C
10	中国	村上武	辰巳物流(株)	港運部課長代理	D
11	九州	岸本拓三	東洋埠頭(株)博多支店	営業所所長代理	書記
12	沖縄	赤嶺拓哉	大共港運(株)	常務取締役	E
13	本部	白川欽也	港湾労災防止協会本部	業務・技術管理部長	
14		櫻井恵治	港湾労災防止協会本部	業務部次長	
15		村田健一	港湾労災防止協東京総支部駐在	安全管理員	
16	来賓	木原亜紀生	愛知労働局	局長	
17		西田吉治	愛知労働局労働基準部	安全課長	
18		山内靖朗	愛知労働局労働基準部安全課	地方産業安全専門官	
19		山本巧	中部運輸局海事振興部	貨物・港運課長	
20		吉野正宜	名古屋港管理組合	港湾管理事務所所長	

● 沿岸班

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	団長	笹田照近	(株)笹田組	代表取締役社長	
2	北海道	伊藤和弘	ナラサキスタックス(株)	港運部作業監督	A
3	東北	相澤武浩	三陸運輸(株)経営本部総務部	安全衛生管理室課長	B
4		中田孝	秋田海陸運送(株)	現業課監督	C
5	日本海	齊藤友康	(株)リンコーコーポレーション	CY業務部次長	D
6	千葉	原山耕一	日本トランスシティ(株)運輸事業部	鹿島支店営業課長	E
7	東京	鎗田好正	山九(株)東京支店	お台場物流グループ所長	A
8	神奈川	尾朝錠司	(株)日新京浜支店業務課	沿岸作業所主管	書記
9		佐藤春男	(株)日新京浜支店第四課	川崎営業所所長	B
10	東海	恒川良太	(株)フジトランスコーポレーション	安全衛生推進部主任	C
11	大阪	栗田佳宜	富栄運輸(株)	専務取締役	D
12	兵庫県	近藤和則	(株)上組神戸支店	現業部 副部長	E
13	中国	角石智教	日本通運(株)広島海運支店	港運事業センター所長	A
14	四国	松本忠士	関西運送(株)	代表取締役	発表
15	九州	福田康博	佐世保港湾運輸(株)	営業部作業課班長	B
16	沖縄	與那嶺仁太	北部港運(株)	作業部係長	C
17	本部	佐藤祐輝	港湾労災防止協会本部	技術管理課長・主任安全管理士	
18		宮内俊昌	港湾労災防止協会大阪総支部駐在	安全管理員	
19	来賓	桑原幸弘	名古屋南労働基準監督署	署長	
20		杉山源史	名古屋南労働基準監督署	安全衛生課長	
21		松尾鏡子	名古屋南労働基準監督署	第二方面主任監督官	

神戸港 7月25日(木)

● 船内班

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	団長	笹田照近	(株)笹田組	代表取締役社長	
2	北海道	伊藤和弘	ナラサキスタックス(株)	港運部作業監督	E
3	東北	相澤武浩	三陸運輸(株)経営本部総務部	安全衛生管理室課長	D
4		中田孝	秋田海陸運送(株)	現業課監督	C
5	日本海	齊藤友康	(株)リンコーコーポレーション	CY業務部次長	B
6	千葉	原山耕一	日本トランスシティ(株)運輸事業部	鹿島支店営業課長	A
7	東京	住山広志	(株)山九海陸京浜事業部港運部	東京港運作業課・課長	発表
8	神奈川	尾朝錠司	(株)日新京浜支店業務課	沿岸作業所主管	E
9		佐藤春男	(株)日新京浜支店第四課	川崎営業所所長	書記
10	東海	恒川良太	(株)フジトランスコーポレーション	安全衛生推進部主任	D
11	大阪	田中利之	(株)海陸運輸公社	業務部部长	C
12	兵庫県	木戸伸行	日栄運輸(株)	安全管理室室長兼課長	B
13	中国	角石智教	日本通運(株)広島海運支店	港運事業センター所長	A
14	九州	福田康博	佐世保港湾運輸(株)	営業部作業課班長	E
15	沖縄	與那嶺仁太	北部港運(株)	作業部係長	D
16	本部	佐藤祐輝	港湾労災防止協会本部	技術管理課長・主任安全管理士	
17		宮内俊昌	港湾労災防止協会大阪総支部駐在	安全管理員	
18	来賓	畑中啓良	兵庫労働局	局長	
19		妹尾裕治	兵庫労働局労働基準部	安全課長	
20		赤木英幸	神戸東労働基準監督署	安全衛生課長	
21		高岡拓史	西宮労働基準監督署	署長	
22		櫻村一郎	西宮労働基準監督署	安全衛生課長	
23		有村舞子	姫路労働基準監督署	厚生労働技官	

● 沿岸班

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	北海道	小場照夫	三ッ輪運輸(株)	現業部第三事業所職長	E
2	東北	佐々木貞之	小名浜海陸運送(株)	営業部港運営業第二課長	D
3	日本海	景山博幸	日本通運(株)富山支店	富山港事業所長	C
4	千葉	野口栄一	鹿島港湾運送(株)安全管理部	参事兼安全課長	発表
5	東京	鎗田好正	山九(株)東京支店	お台場物流グループ所長	B
6	神奈川	金子武志	第一船舶企業(株)横浜支店	係長	A
7	東海	相羽実	愛知海運(株)蒲郡カンパニー	カンパニー長	E
8	大阪	栗田佳宜	富栄運輸(株)	専務取締役	D
9	兵庫県	近藤和則	(株)上組神戸支店	現業部副部長	C
10	中国	村上武	辰巳物流(株)	港運部課長代理	B
11	四国	松本忠士	関西運送(株)	代表取締役	A
12	九州	岸本拓三	東洋埠頭(株)博多支店	営業所所長代理	E
13	沖縄	赤嶺拓哉	大共港運(株)	常務取締役	書記
14	本部	白川欽也	港湾労災防止協会本部	業務・技術管理部長	
15		櫻井恵治	港湾労災防止協会本部	業務部次長	
16		村田健一	港湾労災防止協東京総支部駐在	安全管理員	
17	来賓	曾田和徳	兵庫労働局労働基準部安全課	主任安全専門官	
18		福田恵匡	神戸東労働基準監督署	署長	
19		木多豊	神戸西労働基準監督署	署長	
20		佐藤義春	神戸西労働基準監督署	安全衛生課長	

博多港 7月26日(金)

● 船内班

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	北海道	伊藤和弘	ナラサキスタックス(株)	港運部作業監督	発表
2	東北	相澤武浩	三陸運輸(株)経営本部総務部	安全衛生管理室課長	E
3		中田孝	秋田海陸運送(株)	現業課監督	D
4	日本海	齊藤友康	(株)リンコーコーポレーション	CY業務部次長	書記
5	千葉	原山耕一	日本トランスシティ(株)運輸事業部	鹿島支店営業課長	C
6	東京	住山広志	(株)山九海陸 京浜事業部港運部	東京港運作業課・課長	B
7	神奈川	尾朝錠司	(株)日新京浜支店業務課	沿岸作業所主管	A
8		佐藤春男	(株)日新京浜支店第四課	川崎営業所所長	E
9	東海	恒川良太	(株)フジトランスコーポレーション	安全衛生推進部主任	D
10	大阪	田中利之	(株)海陸運輸公社	業務部部長	C
11	兵庫県	木戸伸行	日栄運輸(株)	安全管理室室長兼課長	B
12	中国	角石智教	日本通運(株)広島海運支店	港運事業センター所長	A
13	九州	福田康博	佐世保港湾運輸(株)	営業部作業課班長	E
14	沖縄	與那嶺仁太	北部港運(株)	作業部係長	D
15	本部	白川欽也	港湾労災防止協会本部	業務・技術管理部長	
16		櫻井恵治	港湾労災防止協会本部	業務部次長	
17		村田健一	港湾労災防止協東京総支部駐在	安全管理員	
18	来賓	伊藤正史	福岡労働局	局長	
19		小野裕己	福岡労働局労働基準部	安全課長	
20		川崎欣之	福岡労働局労働基準部安全課	地方産業安全専門官	
21		阿部裕一	九州運輸局海事振興部	港運課長	

● 沿岸班

No.	総支部	氏名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	団長	笹田照近	(株)笹田組	代表取締役社長	
2	北海道	小場照夫	三ッ輪運輸(株)	現業部第三事業所職長	E
3	東北	佐々木貞之	小名浜海陸運送(株)	営業部港運営業第二課長	発表
4	日本海	景山博幸	日本通運(株)富山支店	富山港事業所長	D
5	千葉	野口栄一	鹿島港湾運送(株)安全管理部	参事 兼安全課長	C
6	東京	鎗田好正	山九(株)東京支店	お台場物流グループ所長	B
7	神奈川	金子武志	第一船舶企業(株)横浜支店	係長	A
8	東海	相羽実	愛知海運(株)蒲郡カンパニー	カンパニー長	書記
9	大阪	栗田佳宜	富栄運輸(株)	専務取締役	E
10	兵庫県	近藤和則	(株)上組神戸支店	現業部副部長	D
11	中国	村上武	辰巳物流(株)	港運部課長代理	C
12	四国	松本忠士	関西運送(株)	代表取締役	B
13	九州	岸本拓三	東洋埠頭(株)博多支店	営業所所長代理	A
14	沖縄	赤嶺拓哉	大共港運(株)	常務取締役	E
15	本部	佐藤祐輝	港湾労災防止協会本部	技術管理課長・主任安全管理士	
16		宮内俊昌	港湾労災防止協会大阪総支部駐在	安全管理員	
17	来賓	日高節夫	福岡中央労働基準監督署	署長	
18		岩坪健吉	福岡中央労働基準監督署	産業安全専門官	
19		河野智章	福岡東労働基準監督署	署長	
20		石橋淳一	福岡東労働基準監督署	安全衛生課長	

5 重点点検事項

- (1) 班ごとに巡視に先立ち、下記に示された重点点検事項を了知し、これに沿って巡視する。
 - ① 指差呼称の実施状況
 - ② 管理体制
 - a 作業計画の作成状況
 - b 船内作業主任者、沿岸主任者の選任状況
 - c 作業主任者等の職務遂行状況
 - ③ 揚貨装置、クレーン及び車両系荷役運搬機械（フォークリフト、ショベルローダー、フォークローダー、ストラドルキャリアー、構内運搬車、貨物自動車）等の作業における
 - a 運転資格の確認、運転・運行状況
 - b 通行区分帯への立入禁止・退避状況
 - c 玉掛け用具の確認、合図・玉掛け状況
 - ④ 荷役作業、倉庫内等の作業における
 - a 墜落・転落、物の落下、荷の崩壊、挟まれ、巻き込まれ等の危険状況の確認及び安全対策の実施状況
 - b 通路、昇降等の設備状況、安全対策の実施状況
 - ⑤ 災害防止のための工夫改善事例
- (2) 重点点検事項の確認に当たっては、別添チェックリストを活用する。
- (3) 巡視後は、班ごとに発表者が中心となり班員から点検結果を聴取し、これを取りまとめ、巡視結果発表等会議において発表する。

主要港督励巡視チェックリスト（船内荷役作業用）

令和元年 7 月 日

港

団員氏名

点 検 項 目		船 名		
一般 A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全標識，安全旗等の掲揚はされているか ・作業にあった服装か。 ・保護帽を着用し，顎紐を締めているか ・履物は作業に適しているか ・指差呼称を実施しているか ・熱中症対策は実施されているか 			
管理体制 B	<ul style="list-style-type: none"> ・作業計画は定められているか ・船内荷役（酸欠）作業主任者は配置されているか ・船内荷役作業主任者は，作業箇所をあらかじめ点検し，直接作業の指揮を行っているか ・船内荷役（酸欠）作業主任者は腕章等をつけているか 			
本船関係 B	<ul style="list-style-type: none"> ・舷門表示は良いか。KYボードは活用されているか ・船内通行設備は安全に確保されているか ・甲板上や船内の整理整頓は良好か ・立入禁止の設定と遵守はされているか ・墜落防止措置はとられているか ・荷崩れ等のおそれはないか 			
揚貨装置 ・クレーン・荷役機械等 C	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの検査証は備えられているか ・点検・自主検査はされているか ・運転士は有資格者か。免許証を携帯しているか ・地切り時の一時停止，確認はされているか ・荷役機械の作業計画は定められているか ・作業員へ計画の周知はされているか ・立入禁止区域の設定と遵守はされているか ・アウトリガー・過巻防止装置・ワイヤ等は適切か ・損傷品，不良品の使用はないか ・危険な使用方法，過負荷等で荷扱いをしていないか ・急発進・急旋回・急停止はないか ・適切な走行スピードが守られているか ・警報機・方向指示器・表示灯の保守点検はなされているか 			
合図 D	<ul style="list-style-type: none"> ・合図者は指名されているか ・合図者と運転士の連絡はよいか ・合図者の位置はよいか ・合図の方法は適確か 			
玉掛け等 D	<ul style="list-style-type: none"> ・玉掛け作業員は技能講習を受けているか 修了証を携帯しているか ・損傷した玉掛け用具を使用していないか ・つり具は適切か。つり荷は制限荷重以内か ・つり荷の状態はどうか。玉掛け方法は適切か ・荷が作業員の頭上を通過していないか。作業員の退避はよいか 			
工夫改善事例 E				
備考				

主要港督励巡視チェックリスト（沿岸荷役作業用）

令和元年 7 月 日

港

団員氏名

点 検 項 目		事業場名（上屋名）		
一般 A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全標識，安全旗等の掲揚はされているか ・作業にあった服装か ・保護帽を着用し，顎紐を締めているか ・履物は作業に適しているか ・指差呼称は実施されているか，KYボードの活用状況はどうか ・熱中症対策は実施されているか 			
管理体制 B	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸荷役作業の作業計画は作成されているか ・沿岸荷役主任者は選任されているか ・沿岸荷役主任者は，作業箇所をあらかじめ点検し，直接作業の指揮を行っているか ・沿岸荷役主任者及び作業主任者は腕章・表示をつけているか 			
作業環境 B	<ul style="list-style-type: none"> ・作業現場の整理整頓は良好か ・作業現場・仮置場の通路等の整理は良いか ・はい崩れのおそれはないか ・各種表示は適切か 			
クレーン・荷役機械等 C	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの検査証は備えられているか ・点検・自主検査はされているか ・運転士は有資格者か。免許証を携帯しているか ・地切り時の一時停止，確認はされているか ・荷役機械の作業計画は定められているか ・作業者へ計画の周知はされているか ・立入禁止区域の設定と遵守はされているか ・アウトリガー・過巻防止装置・ワイヤ等は適切か ・損傷品，不良品の使用はないか ・危険な使用方法，過負荷等で荷扱いをしていないか ・急発進・急旋回・急停止はないか ・適切な走行スピードが守られているか ・警報機・方向指示器・表示灯の保守点検はなされているか 			
合図 D	<ul style="list-style-type: none"> ・合図者は指名されているか ・合図者と運転士の連絡はよいか ・合図者の位置はよいか ・合図の方法は適確か 			
玉掛け等 D	<ul style="list-style-type: none"> ・玉掛け作業者は技能講習を受けているか，修了証を携帯しているか ・損傷した玉掛け用具を使用していないか ・つり具は適切か。つり荷は制限荷重以内か ・つり荷の状態はどうか。玉掛け方法は適切か ・荷が作業者の頭上を通過していないか。作業員の退避はよいか 			
工夫改善事例 E				
備考				

結果発表用紙

令和元年7月 日

港

(船内班・沿岸班) 団員氏名

良かった点	
指摘事項及び改善事項	
質問事項	

II 結団式（7月23日（火））

1 概要

結団式は、午前9時30分から、横浜港運会館（神奈川県横浜市中区）3階会議室において、厚生労働省労働基準局村山安全衛生部長、寺島副主任中央産業安全専門官、神奈川労働局吉谷労働基準部長、国土交通省関東運輸局宮永海事振興部長、横浜市港湾局佐々田港湾物流部長、港湾所轄の各労働基準監督署長、横浜港湾関係事業者等多数の行政関係者等の代表者を来賓に迎え、神奈川総支部及び東京総支部の関係者の出席のもと挙行された。

出席者全員で黙祷後、藤木会長の挨拶があり、引き続いて神奈川総支部の笹田照近氏が団長に委嘱され、下記のとおり進行した。

最後に、横浜支部指差呼称実行委員会遠藤幹事の発声に続いて、出席者全員で「ゼロ災で行こうヨシ！」と声高らかに指差唱和をして、結団式を終了した。

記

- (1) 会長挨拶 会長挨拶のとおり
- (2) 団長委嘱状交付
- (3) 団長挨拶 団長挨拶のとおり
- (4) 団員紹介 前記名簿のとおり
- (5) 来賓挨拶

厚生労働省労働基準局 村山安全衛生部長

神奈川労働局 吉谷労働基準部長

- (6) 来賓紹介

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 寺島副主任中央産業安全専門官

計画課 北邨係員

安全課 高保係員

安全課 久保田係員

神奈川労働局 石井安全課長

安全課 渋谷地方産業安全専門官

関東運輸局 宮永海事振興部長

竹内港運課長

横浜市港湾局 佐々田港湾物流部長

横浜南労働基準監督署 古屋署長

川口第3方面主任監督官

鶴見労働基準監督署 前田署長

古川第3方面主任監督官

横浜北労働基準監督署 原田署長

石井第4方面主任監督官

横浜工ゼント会 若松会長代理

横浜港湾荷役協会 千葉会長代理

横浜回漕協会 飯泉会長

横浜港運関連事業協会 長谷川会長

京浜海運貨物取扱同業会 池田会長代理

全日本ワッチマン業協会 関東支部 粟竹支部長

横浜検数・検定部会 平木部会長

港湾運送事業組合 連合会 岸会長

(7) 協会関係者紹介

藤木 神奈川総支部長

坂田 横浜支部長

三田 川崎支部長

小川 横浜支部 副支部長

中川 横浜支部 パトロール実行委員会 委員長

安田 横浜支部 総務委員会 委員長

井上 横浜支部 コンテナ委員会 委員長

猪野 横浜支部 墜落対策委員会 委員長

渡部 横浜支部 災害対策委員会 委員長

米山 横浜支部 衛生委員会 委員長

酒井 横浜支部 指差呼称 実行委員会 委員長

澤山 東京 副総支部長・東京支部 安全衛生委員長

濱西 東京総支部 常務理事

志知 東京総支部 総務委員長

鶴岡 東京支部 安全衛生副委員長

三浦 東京支部 安全衛生委員会 14埠頭部会長

2 会長挨拶

今日は、各港から選抜された巡視団の方々ようこそ、この横浜におみえくださった。ここがスタートになりますが、我々の先輩が長い間築いてきた仲間を大事にし、港々をしっかりと結び合うこの督励巡視団は昭和30年に始まっています。

私もはじめのころは団員の一人として何回か参加をしていました。その頃は新幹線もありませんし、夜行列車で移動しておりましたが、今は交通の便は良くなりました。

港湾労働の中身も、昔のように荷を手鉤で肩にしょったり歩み板を踏んだり、今はそんなことはなくなりました。港湾労働者は、もういろんな意味でエンジニアの塊だと言うことで、間違いないんです。港湾労働者という名前は今も生きていますが、労働の中身が昔とは違うようになった。これをどういう名前がいいのかわかりませんが、私一人が決めるような生意気なことは言えませんが、変えていきたいのです。

今はテクノロジーというんですか、やたらに機械化されて、これからどういうことになるかわかりません。しかし、最後に失っちゃいけないのは人間としての気持ちです。便利もよいが便利なものは気を付けましょう。昔から利害得失といったんですよ。利があれば、必ず害がある。得があれば失うものがある。利ばかり、得ばかり追っかけると、そこに落とし穴があります。

昭和30年から一番港にとって大事なものは現場の人たちです。まず、一番大事なのはメンタルヘルス。気持ちよく働こうということです。それから働いている中身を評価してもらうことです。今まではお得意さんの言うことをききますが、お得意さんだって訳のわからないお得意さんがいるわけですから、そのときは港湾人として自分のアイデンティティが、特にこれからは必要です。これから機械化されてくると何が起こるかわかりませんし、我々はまとまってやっていかなければなりません。

今の世の中は一港一社、一つの港が一つの会社という感覚、それが最近では、もう、日本の国は一つと日本の港は全部同じなんだとしなければ、この国際的な海運事業について行けなくなりました。港の食堂で働くおばちゃんも港湾人なんですよ。港湾人だけでもしっかりしようよという、気持ちです。



今の地球の気候は異常です。地球そのものが病気です。初めての温度になってみたり、災害がどんどん起きたりしています。現場で働く仲間によく言ってください。今年の暑さは地球の病気が持ってくる暑さです。例年の春夏秋冬の中にある暑さではない。異常です。有名なモンゴルのチンギスカンの遠征も異常気象の影響を受けていたそうです。私は脅かしているわけじゃないですが、お互いに気を付けましょう。皆さんが努力してもかなわない気候ですから気を付けましょう。

7月15日、月曜日に大きなE X I L E (DOBERMAN INFINITY) のフェスティバル(ライブコンサート)がありました。1万人がここ山下埠頭に来ました。若い子ばかりで高い切符ばかりで、それが買えなくて大騒ぎになって、しかし横浜港運協会が協力して何の事故もなくきれいに行われました。最後に山下ふ頭で解散というときにメンバーの一人一人が挨拶をしたんです。私はその場にいなかったんですけど、後で報告を聞きました。「今日一日、楽しい仕事ことができました。皆さんも喜んでくれました。本当に山下ふ頭全体が盛り上がりました。でもフェスティバルは、この瞬間、終わったんじゃない。皆さんが家に帰って靴を脱いで自分の部屋に入ったとき、これが今日のフェスティバルの終わりなんです。まだ、フェスティバルは終わっていません。気を付けてお帰りください。」今の若い子しっかりした子もいるんだなと思ってうれしかったからお話ししました。

私、防災協会の責任者を仰せつかって長くなります。いい年にしていつまでもと思っておりますが、私の情熱をぶつけるのはここしかない。港湾防災協会は、各港々の全くありがたい団結が根っこにあります。去年の主要港督励巡視は、暑さや台風でどうなるかなって心配したけれど、皆さんの力で無事にできました。今回も同じです。団長の笹田照近君はしっかりしたリーダーに育っており、今回で第6回目になります。この人のお父さんも6回団長をやりました。みんなで盛り立ててやってください。

これから団員の皆さんを一人一人ご紹介いただくわけですが、是非、具合の悪い人は具合が悪いと言って無理をしないでください。団体行動だからこそ無理のないように気を付けてお出かけください。そして、団員の皆さん、家に帰りつくまで気を付けて安全に帰ってください。お願いします。ありがとうございました。

3 団長挨拶

只今、藤木会長から令和元年度の主要港督励巡視の団長を仰せつかりました神奈川総支部の笹田でございます。

本日は、早朝より、厚生労働省労働基準局安全衛生部長村山様、神奈川労働局労働基準部長吉谷様、国土交通省関東運輸局海事振興部長宮永様、港湾所轄の各労働基準監督署長様、横浜市港湾局港湾物流部長佐々田様を始め、関係官庁並びに関係機関の皆様方には、ご多用の中、私共督励巡視団の激励のためにご臨席をたまわり、誠にありがとうございます。

また、神奈川総支部の藤木総支部長を始め、会員店社からも多数のご出席をいただき、誠にありがとうございます。

主要港督励巡視は、我が国の港の労働災害の防止に多大な貢献を果たしてまいりました。その団長を昨年に引き続いて仰せつかり、責任の重さを改めて痛感しているところであります。

港の諸先輩方々が築き上げられた素晴らしい伝統を適確に受け継ぐとともに、港湾荷役作業の変化に応じて、安全衛生水準の一層の向上を図り、港から災害を無くすことに貢献することが私たちの課題であります。

幸い、団員の皆様は、各港において永年にわたって労働災害防止活動に精励され、優れた実績を上げておられる方々ばかりでありますので、大変、心強く思っております。

督励巡視にあたり、厚生労働省、各地元労働局のご指導のもとに団員のご協力を得まして、各港における労働災害防止活動を視察させていただき、藤木会長を始め、皆様方のご期待に添うよう団長としての任務を果たしてまいりたいと考えておりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

簡単ではありますが、以上、結団式に当たりましてのご挨拶といたします。

本日は、ありがとうございます。



- 結 団 式 -



黙 祷



委嘱状を受け取る笹田団長



挨拶をされる厚生労働省村山安全衛生部長



横浜支部指差呼称実行委員会遠藤幹事の発声による指差唱和

Ⅲ 巡視結果

1 横 浜 港

7月23日（火） 雨のちくもり 27℃

(1) 概要

結団式終了後、船内班、沿岸班に分かれて巡視に出発した。

村山厚生労働省安全衛生部長，寺島副主任中央産業安全専門官をはじめ，吉谷神奈川労働局労働基準部長，港湾所轄の各労働基準監督署の幹部の方々も巡視に同行され，ご指導をいただいた。

巡視後，横浜港運会館に戻り，検討会議を経て，督励巡視結果発表等会議が開かれた。会議では，藤木総支部長の挨拶に続き，深川総支部事務局主管者による横浜港の安全衛生活動状況について説明がなされた後，督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後，巡視に同行された石井神奈川労働局安全課長及び寺島副主任中央産業安全専門官から講評指導が行われ，笹田団長の総括とお礼の挨拶，坂田横浜支部長，協会本部山本事務局長の挨拶により横浜港巡視を終了した。

(2) 巡視結果

① 船内班

場所：大黒埠頭L-5バース
本船：WHITE LILLY（在来船）
作業：舳から鉄板の積込み



巡視前に全員で指差唱和



乗船する団員

① 良かった点

- ア 本船通路等の危険個所に、注意喚起のピンクリボンを結び、危険の見える化を図っていること。
- イ ギャングウェイ乗降口にしっかりした木製のステップ台を設置するとともに、足元の注意喚起がなされていること。



注意喚起のピンクリボン



木製のステップ台

- ウ 船内の玉掛者全員が、貨物の地切り後、自分達の玉掛けした箇所の安全確認を大きな声で指差呼称していること。
- エ 熱中症対策キット、休憩場所の位置が、分かりやすく地図で表示されていること。

② 指摘事項及び改善事項

特になし。

③ 質問事項（⇒ 回答）

- ア 熱中症指数計測中の貼紙がされていたが、計測時間は設定されているか？
 - ➡ 計測時間は設定していないが、随時計測している。
- イ 船内の貨物を地切りする際、デッキマン以外の方が地切りの合図をしているように見えたが、誰の合図で巻き上げを開始しているか？
 - ➡ デッキマンからウインチマンに、合図している。



熱中症指数計測中



作業の様様

② 沿岸班

場所：本牧埠頭 B-5～8



巡視する団員



巡視場所

① 良かった点

(全体)

貨物の角に、角あてを兼ねた注意喚起の表示がなされていること。



注意喚起の表示

(B-5)

ア KYボード、熱中症の注意喚起の表示が良好であること。

イ 玉掛道具の整理整頓及びメンテナンスが良好であること。

(B-6)

ア フォークリフト作業時、運転手と手元作業者の連携が良好であること。

イ 歩行帯の表示、荷役道具類の整理整頓、カーブミラーの設置、ハシゴの固縛、消火栓・消火器の配置図、KYボード、温度計、シャッターの幅・高さ表示が良好であること。

(B-7)

事象事例の掲示、音声センサーによる注意喚起、大きなカーブミラー、スポットクーラー、熱中症に対する掲示（一定時間毎に手書きで表示）、コンテナ扉の固縛、資材置場の整理整頓が良好であること。

危険予知活動表		本牧B-6営業所
7月23日 火曜日		作業責任者 山田貢三
本日の作業予	20x15 9ヶパケ物 兎物 BARE	休み
	40x12 7ヶコ(既) 7ヶ外、9ヶパケ物	
EVAN	20x5 兎 石積	備考
	40x3 兎 BARE	地切りヨシ!!
本日のワンポイント	石積パケ物時僅重心、荷高品有注意USの正確作業	安全確認ヨシ!!
今週のワンポイント	フォークと貨物移動の際には注意	声掛けヨシ!!
ヒヤリハット	シャッター出入口人の呼び出し確認 カメラの確認!	

KYボード



シャッターの幅・高さ表示



スポットクーラー



熱中症に対する掲示

(B-8)

熱中症対策，整理整頓が良好であること。

② 指摘事項及び改善事項 (➡ 回答)

(B-5)

ア エアホースを巻かずに，放置していること。

➡ 早急に是正し，今後，一作業一片付けを徹底していく。

イ コンセント差込口が下を向き，路面スレスレのため，漏電の危険があること。

➡ コンセントが垂れ下がらない高く設置し直す。

(B-6)

屋外の地面に設置している鉄板に跳ね上がりあること(地盤から改良が必要ではないか?)

➡ 市有地のため，地盤の改良を横浜市港湾局に要望する。

跳ね上がった部分については，切断等により補修する。

(B-7)

路面標示がほぼ消えかかっていること。

➡ 市の施設のため，再塗装を横浜市港湾局に要望する。

(B-8)

他社に比べて表示物が少ないこと。

- ➡ 表示物は、2階事務所に上がる階段の壁に掲示している。
今後、作業現場にも掲示をしていく。

③ 質問事項 (➡ 回答)

(全体)

熱中症の基準値をオーバーしたとき、どのように対処しているか？

- ➡ 現場責任者が、こまめに水分と塩分を補給させ、小休憩を与えている。
体調に異変を感じたら、速やかに班長又は作業責任者に伝え対処する。

(B-7)

木箱が高積みしてあったが、基準はあるか？

- ➡ 貨物に応じた段積みをしており、特段の基準は設けていない。
貨物に強度がなければ、段積みはしない。

(B-8)

ア フォークリフトの爪の上まで廃フレコンが覆いかぶさっているが、意味はあるのか？

- ➡ 当該フォークリフトは、故障により走行できないものであり、意味はない。
今後、廃フレコン置き場の4Sを徹底する。

イ KYボードはプリントではなく、直接書いたほうが見やすいのではないか(提案)

- ➡ 早急に改善する。

③ YPMターミナル視察

船内班及び沿岸班は巡視後、南本牧にあるYPMターミナルを視察した。

- 督励巡視結果発表等会議 -



挨拶をされる藤木神奈川総支部長



巡視結果を発表する近藤団員



講評をされる石井神奈川労働局安全課長



講評をされる寺島副主任中央産業安全専門官

2 名 古 屋 港

7月24日（水） 晴れ 34℃

(1) 概要

開会式は、午前9時から、名古屋港湾会館2階第1会議室において、87名の参加を得て開催された。

冒頭、系井東海総支部長、笹田団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、木原愛知労働局長の来賓挨拶、その後、来賓、名古屋支部の代表者の方々の紹介の後、北川船内部会委員の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ！」の指差唱和を行い、名古屋港の巡視に出発した。

木原愛知労働局長、西田愛知労働局労働基準部安全課長、桑原名古屋南労働基準監督署長はじめ愛知労働局・労働基準監督署の幹部の方々も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の結果発表等会議では、名古屋港運協会の後藤会長の挨拶に続き、前田東海総支部駐在安全管理員から名古屋港における安全衛生活動状況の説明について説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後、巡視に同行された桑原名古屋南労働基準監督署長及び西田愛知労働局安全課長から講評指導が行われ、笹田団長の総括とお礼の挨拶、最後に、伊藤名古屋支部長の挨拶があり、名古屋港における督励巡視を終了した。

(2) 巡視結果

① 船内班

場所：名古屋ユナイテッドコンテナターミナル

本船：SITC BUSAN

作業：コンテナ揚げ（250本）



巡視場所全景



巡視前に全員で指差唱和

① 良かった点

- ア デッキ上の作業責任者が、赤い腕章を付けて区別されていること。
- イ ガントリークレーン下の玉掛者の指差呼称による安全確認が良好であること。
- ウ ガントリークレーン下近くに置かれていたフォークリフトにはしっかり歯止めがなされているほか、ギアボックスや資材箱に対しカラーコーンで注意喚起がなされていること。



赤い腕章を付けている作業責任者



歯止めがなされているフォークリフト

② 指摘事項及び改善事項（ → 回答）

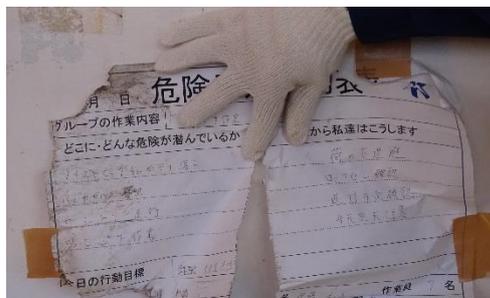
- ア 本船沖側のデッキ通路上に、コンテナのラッシング材（ターンバックル）が約 1.5 mの高さまで垂れ下がっているため、通路を歩行する際、接触する可能性があること。

➡ 今後、このようなことがないようにしっかりと固定する。

なお、本船によっては、物理的に固定ができないこともあるので、その場合はピンクリボンテープなどにより対応する。

- イ K Yボード横に、過去の作業時のK Yボードの一部が貼られており、紛らわしいこと。

➡ 早急に撤去し、今後、このようなことがないように指導する。



過去の作業時のK Yボード

③ 質問事項（ → 回答）

- 本船上やガントリークレーン下など熱中症対策が見当たらなかったが、熱中症対策として、どのようなことを行っているか？

- ➡ エプロン近くの休憩所に、熱中症対策キットを配備している。
作業員には、適宜、塩飴や飲料水を持たせ、水分補給をするよう指導している。

場所：名古屋ユナイテッドコンテナターミナル
 本船：GREEN HOPE
 作業：コンテナ揚げ（122本）

① 良かった点

- ア 喫煙場所の設営や熱中症対策の場所が、明確に表示されていること。
- イ ギャングウェイ下のキャップタイヤ溝に、転倒防止の措置がなされていること。
- ウ 工具箱に、過去の事故事例等を踏まえて、設置方法が写真で分かりやすく表示されていること。



喫煙場所の設営の表示



工具箱設置方法の表示

- エ ガントリークレーン下の合図者が、メリハリのある動きで指差呼称を行っていること。
- オ 合図者が、4人で同時無線を使用していること。

② 指摘事項及び改善事項

特になし。

③ 質問事項（ ➡ 回答）

デッキ上両サイドの狭い場所で、ラッシング、アンラッシング作業を行う場合、どのような安全対策を講じているか？

- ➡ 安全帯のフックがかけられる場所では、安全帯を使用して作業をさせている。
 なお、フックがかけられない、親綱が張れない場所では、注意して作業させるしかない状況である。

このことについては、デッキ両サイドの1段目、2段目に積むコンテナは8：

6のコンテナを積むようにしてもらい、デッキ両サイドの開口部をふさぐようにして足場を広げてもらうなどの申入れを船社側に伝えている。

② 沿岸班

場所：名古屋港国際総合流通センター



巡視前に全員で指差唱和



巡視する団員

① 良かった点

(全体)

安全掲示物、服装、熱中症対策、フォークリフト四原則、地切り表示が良好であること。掲示物の中で、A社の顔写真付き「私たちの安全宣言」、B社の過去の災害に関する対策横展開事例（12件）は、特に良好。



私たちの安全宣言



過去の災害に関する対策横展開事例

(A社)

熱中症対策とともに担架を用意していること。

歩行帯に可動式の一旦停止バーを設置していること。

(A社・C社・D社)

コンテナ作業中及び作業終了の表示が良好であること。

(A社・D社)

コンテナ作業時に、大型のスポットクーラーを使用していること。



いす型の担架



可動式の一旦停止バー



コンテナ作業終了の表示



コンテナ作業中の表示



大型スポットクーラー

(A社・D社・E社)

指差の声出しが良好であること。

(C社)

緊急連絡網が整備されていること。

(C社・D社)

道具類を一か所にまとめ、分かりやすく表示、整理されていること。

(E社)

フレコンのフォーク作業時、アタッチメント取り付け、適切な道具の使用が良好であること。

② 指摘事項及び改善事項 (→ 回答)

(B社)

止まれ表示が黒ずみ、見えにくいこと。

歩行帯にコードがあるので、目張りが必要であること。

(B社・F社・G社)

歩行帯に、貨物が置いてあること。

(D社)

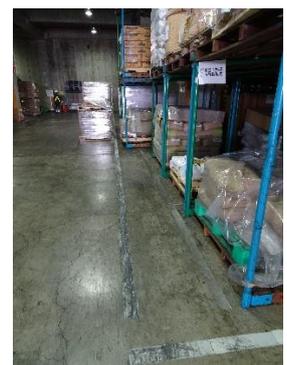
通行帯の表示が薄いこと。



黒ずんだ止まれ表示



貨物が置かれた歩行帯



表示が薄くなった通行帯

(D社・E社)

指差はできていたが、荷から目を離すのが早いこと。

(F社)

オム二下など清掃が行き届いていないこと。

非常ベルの前に、使用済みストレッチフィルムなどのゴミが置かれていること。

➡ いずれも、早急に改善する。

③ 質問事項 (➡ 回答)

(E社)

フレコンバッグのトラック積み降ろし作業は、降雨時、どのように行うのか？

➡ 片方ずつ積み込むこととしている。

(F社)

空パレットが34段になっていたが、指定の段数はあるか？

➡ 30段と決めているので、早急に改善する。



34段積まれた空パレット

- 開 会 式 -



挨拶をされる系井東海総支部長



挨拶をされる木原愛知労働局長



名古屋支部北川船内部会委員の発声による指差唱和



挨拶をされる笹田団長

- 督励巡視結果発表等会議 -



挨拶をされる名古屋港運協会後藤会長



巡視結果の発表等を行う松本団員・尾朝団員



講評をされる西田愛知労働局安全課長



閉会の挨拶をされる伊藤名古屋支部長

3 神戸港

7月25日（木） くもりのち晴れ 32℃

(1) 概要

開会式は、午前9時から、神戸ポートオアシス5階会議室において、136名の参加を得て開催された。

冒頭、福島兵庫県副総支部長、笹田団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、畑中兵庫労働局長及び河西神戸運輸監理部海事振興部貨物・港運課長の来賓挨拶、その後、兵庫県総支部及び神戸支部の代表者の方々の紹介の後、上田兵庫県総支部事務局主管者の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ！」の指差唱和を行い、神戸港の巡視に出発した。

畑中兵庫労働局長、妹尾兵庫労働局労働基準部安全課長、港湾所轄の各労働基準監督署長はじめ兵庫労働局・労働基準監督署の幹部の方々も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の結果発表等会議では、上田事務局主管者から神戸港における安全衛生活動状況の説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後、巡視に同行された妹尾兵庫労働局労働基準部安全課長から講評指導が行われ、笹田団長の総括とお礼の挨拶、最後に、松永神戸支部長の挨拶があり、神戸港における督励巡視を終了した。

(2) 巡視結果

① 船内班

場所：摩耶埠頭 E 岸壁

本船：グローバル コマ（在来船）

作業：上屋よりロッドワイヤの積込み



巡視前に全員で指差唱和



積込み作業

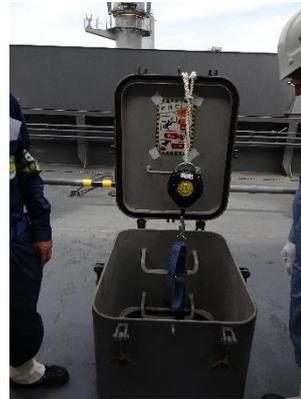
① 良かった点

ア ギャングウェイ乗降口のカラーコーンによる表示, KYボード, 立ち入り禁止措置, 救命浮環が良好であること。

イ ホールド内への昇降口に, 転落防止のセーフティブロック設置されていること。



ギャングウェイ乗降口付近

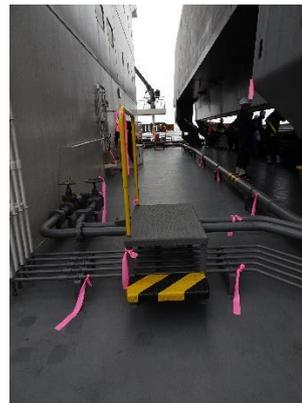


ホールド内への昇降口

ウ 本船デッキ上の立入禁止箇所にはトラテープ, 突起物にはピンクテープによって分かりやすく注意喚起がなされていること。



立入禁止箇所の表示



注意喚起のピンクテープ

エ 船側では玉掛作業者及び検数員の退避場所が明確に確保され, 玉掛け後, 確実に退避していること。

オ 熱中症対策として, 船側の退避場所と本船デッキ通路に, スポットクーラー, 瞬間冷却剤の入った保冷バック, 給水器などが備えられていること。



退避場所に退避している作業員



船側の退避場所のスポットクーラーなど

カ デッキマンが指差呼称で確認し合図を行っており、玉掛作業者との連携が良好であること。

キ 貨物に対して、輪止めをしっかりと行っていること。

② 指摘事項及び改善事項（➡ 回答）

ア ホールド内で、貨物の上に作業員が登っていたが、昇降設備が確認できなかったこと。

イ フォークリフト後方確認時、前方の貨物から目を離すのが早いこと。また、動きながらの指差呼称となっていること。

ウ 船側の作業で、玉掛けの際、玉掛作業者がカンザシの真下で玉掛けを行っていること。

エ 船側に貨物を持って来たフォークリフトが離れる前に、検数員がチェックに入っていること。

➡ ア～エまでは、良かった点を含め、神戸港全体で水平展開をし、今後の安全活動につなげていきたい。

③ 質問事項（➡ 回答）

ア 玉掛けの吊り具として、ワイヤではなくロープを使用していたが、古く見えたため、点検はどのようなタイミングで行っているか？

➡ 貨物を傷つけないように、ワイヤをロープで養生した専用吊り具である。
点検は、始業時実施しており、ワイヤのヨリや損傷があれば、早急に新しいものに交換している。

イ フックに、外れ止めが付いていないのは、なぜか？

➡ 神戸港では、作業資材を共同で手配して借りている。
今後も、改善を要請していく。

ウ デッキクレーンのオペレーターの熱中症対策は、どのようにしているか？

➡ 運転席には水分を持って上がるようにしている。
昼の休憩以外にも、午前、午後に休憩を設けて、水分や塩分の補給をするようにしている。

エ 作業前、船倉の酸素濃度を測定しているか？

➡ 作業開始前、フォアマンの有資格者が計測している。

② 沿岸班

場所：新港突堤西地区



巡視前に全員で指差唱和



巡視場所

① 良かった点

- ア 挨拶と4Sが徹底されていること。
- イ フォークリフト5原則が徹底されていること。
- ウ フォークリフト運転者が進行方向に確実な指差呼称を行っていること。
- エ 清掃用具の定置定数がしっかりと管理されていること。



指差呼称を行うフォークリフト運転者



清掃用具置き場

- オ 熱中症対策として、ドリンクのそばに、誰もが気兼ねなく飲めるよう紙コップを設置していること。
- カ 職員がベルをぶら下げて歩行し、作業員に対し自分の存在を分かりやすくしていること。



水分の補給場所



ベルをぶら下げている職員

- キ コンテナ出バンの作業員とリフトマンの合図の確認連携が確実に取れていること。
- ク K Yボード, 作業計画書, 熱中症警戒の表示を一か所にまとめ, 分かりやすく表示していること。
- キ ひな壇積み付けのはい付けが良好であること。

② 指摘事項及び改善事項

特になし。

③ 質問事項 (→ 回答)

ア 自動ラップ巻き機を使用する際の注意事項は何か？

➡ 周囲の安全確認を行う。

操作者の立ち位置を決め, ラップ巻き防止を行う。

非常時には, 操作盤の非常停止ボタンを押す。

イ 電気リフトの電源ケーブルの管理方法を統一したほうがいいのか(提案)

➡ フックにかける形に統一する。



電源ケーブル付近

ウ 倉庫の出入口に, 停止線やカーブミラーを設置したほうがいいのか(提案)

➡ 元請けと相談し, 設備投資を検討する。

③ 港湾技術研修センター視察

船内班及び沿岸班は巡視後, 神戸市中央区港島にある港湾技術研修センターを視察した。

- 開 会 式 -



挨拶をされる福島兵庫県副総支部長



挨拶をされる畑中兵庫労働局長



団員の紹介



上田兵庫県総支部事務局主管者の発声による指差唱和

- 督励巡視結果発表等会議 -



巡視結果（船内班）の発表をする住山団員



巡視結果（沿岸班）の発表をする野口団員



講評をされる妹尾兵庫労働局安全課長



閉会の挨拶をされる松永神戸支部長

4 博 多 港

7月26日(金) 天気 晴れ 34℃

(1) 概要

開会式は、午前9時から、福岡サンパレス2階パレスルームにおいて88名の参加を得て開催された。

冒頭、野畑九州総支部長、笹田団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、伊藤福岡労働局長の来賓挨拶、その後、来賓、博多支部の代表者の方々の紹介の後、林田安全衛生指導委員長の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ！」の指差唱和を行い、博多港の巡視に出発した。

伊藤福岡労働局長、小野福岡労働局労働基準部安全課長、港湾所轄の各労働基準監督署長はじめ福岡労働局・労働基準監督署の幹部の方々、阿部九州運輸局海事振興部港運課長も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の結果発表等会議では、博多支部古賀事務局管理者から博多港における安全衛生活動状況の説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後、巡視に同行された小野福岡労働局労働基準部安全課長から講評指導が行われ、笹田団長の総括とお礼の挨拶、最後に、渡辺博多副支部長の挨拶があり、博多港における督励巡視を終了した。

(2) 巡視結果

① 船内班

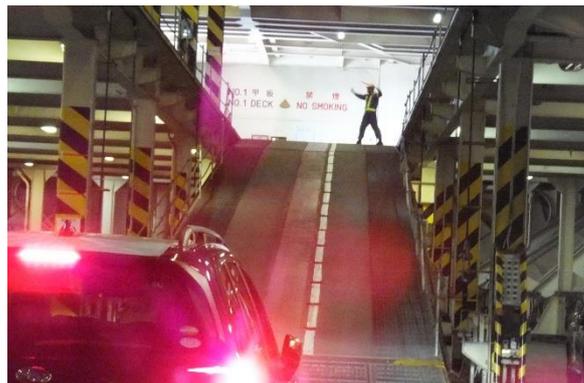
場所：箱崎埠頭7岸

本船：さんふらわあ とうきょう（内航 RO-RO 船）

作業：乗用車の揚げ



巡視に向かう団員



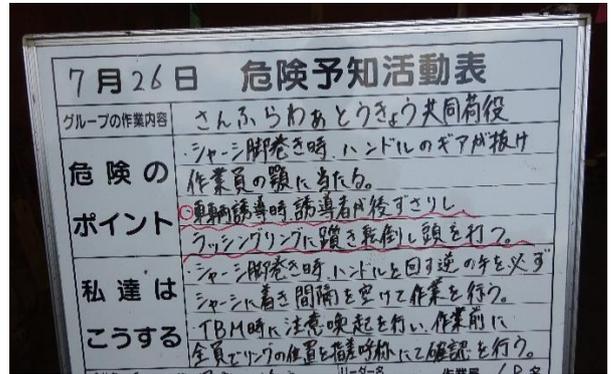
船内の模様

① 良かった点

- ア コンテナを活用した休憩所に、KYボードや緊急連絡網の表示、救急箱のほか、熱中症対策として、給水器、クーラーボックスなどを設置していること。
- イ KYボードの重点項目を分かりやすく赤字で◎と下線引きで表示し、注意を喚起していること。



コンテナを活用した休憩所



KYボード

- ウ 運転者が乗車前に車両周りの一回点検を実施し、走行時の車間距離も良好であること。
- エ 指揮者の指示に従って、作業員が作業していること。

② 指摘事項及び改善事項 (→ 回答)

- ア 昇降設備のハッチの開口部が開いたままになっていたが、転落防止などの措置や注意喚起がされてなかったこと。

➡ 昇降設備のハッチの開口部に、リボン等を取り付け、注意喚起させる。



ハッチの開口部付近

- イ 安全掲示板に、一部横書きの物が縦向きに貼り付けられていること。

➡ 横書きを縦書きにするように指導する。

③ 質問事項 (→ 回答)

- ア 岸壁に駐車中の作業員送迎車の輪止めの位置がバラバラだったが、取決めはあるか？

➡ 統一されていなかったなので、右前輪に統一する。

イ 揚げ車両の発進時に誘導者がいなかったが、発進の順番の取決めはあるか？

➡ 揚げ車両は、後進の場合に誘導者を配置している。

今回は前進での発進であり、発進前に順番を定めているため、誘導者は付けていない。

場所：箱崎埠頭 1 2 岸

本船：UNI WEALTH

作業：バケットクレーンでの原糖（バラ物）の揚げ



乗船する団員



船内の模様

① 良かった点

ア デッキマンが、しっかりと昇降台を固縛した上で安全带も取り付けて合図を行っていること。

イ 本船デッキ通路の関係者以外立入禁止の表示が良好であること。

ウ 荷役機械の作業計画及び危険予知について、安全掲示板で作業員に周知していること。



デッキマン



安全掲示板

エ 各ハッチ 4 か所において、酸素濃度を測定し表示していること。

オ 危険予知実践表で、暑さ指数予測を赤字で明示し、注意を喚起していること。



酸素濃度測定表危険



予知実践表

② 指摘事項及び改善事項 (➡ 回答)

ア バケットとワイヤをつなぐシャックルに外れ止めがなかったこと。

➡ 番線等を用いて外れ止めを防止する。

日々の作業開始前点検でもチェックしていく。

イ パイロット乗船口が、開いたままになっていたこと。

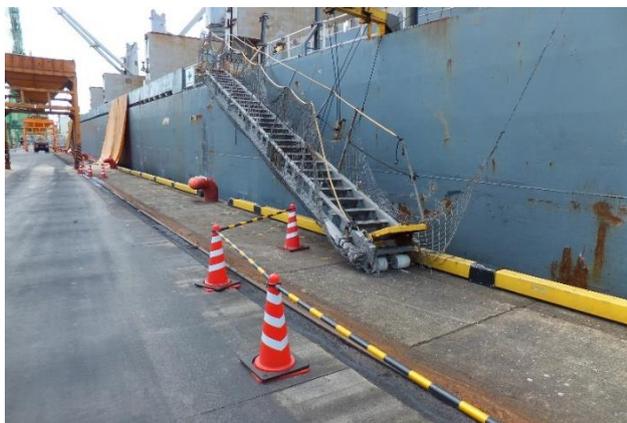
➡ 本船施設のため、本船に対し改善を申し入れる。

ステベ側においても、乗船口が閉まっているか再確認する。

③ 質問事項 (➡ 回答)

ギャングウェイの乗降口に段差があるので、足元注意などの注意喚起の表示があったほうがいいのではないか (提案)

➡ 注意喚起の表示をするとともに、ミーティング等にて危険箇所を周知する。



ギャングウェイ乗降口付近

② 沿岸班

場所：箱崎埠頭 アイランドシティ倉庫



巡視する団員

① 良かった点

(A社)

ア 墜落制止用器具（ハーネス型）、昇降台の設置等、トラック運転手用の安全対策が良好であること。



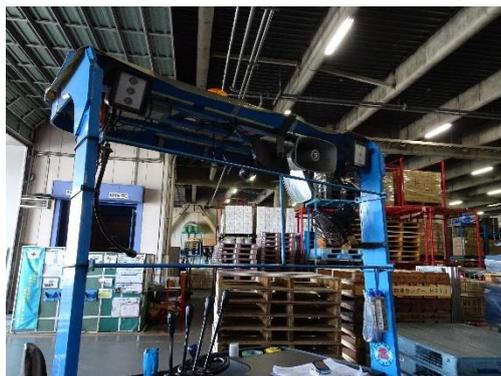
墜落制止用器具収納箱



昇降台

イ マイク、スピーカー、バック時のLEDライト、接近禁止表示等、フォークリフトの安全対策が良好であること。

ウ コンテナ作業用に照明が設置されていること。



フォークリフトに取り付けられているスピーカー



コンテナ作業用の照明

エ フォークリフト運転手の指差呼称，声掛けが大変良好であること。

オ 作業場所ごとに，KYボードを設置していること。

(B社)

ア 消火器・消火栓の表示を高い位置に設置し，見やすくしていること。

イ フォークリフト停車5原則のシールが工夫されていること。

ウ AEDの設置場所が明確であること。



消火器・消火栓の表示 フォークリフトに貼付されている停車5原則のシール A E D

② 指摘事項及び改善事項 (➡ 回答)

(A社)

ア 消火栓の扉の前に，キャスター付きのゴミ箱が置かれていること。

➡ 直ちに指定場所に移動させた。

イ ほうき，ちり取りが壁に立てかけてあり，倒れる危険性があること。

➡ 吊り下げ式に変更する。

(B社)

丸のこが，通行帯付近に放置されていること。

➡ ラッシング作業に使用した。

作業終了後，指定の場所に戻すよう指導を徹底する。

③ 質問事項 (➡ 回答)

(A社)

フォークリフト充電用の電源扉の固定方法を統一したほうがいいのか(提案)

➡ 扉の開閉方向を変更しても凸部は出るため，ゴムバンドでの固縛を徹底する。



フォークリフト充電用の電源扉

(B社)

ア 沿岸荷役主任者，作業主任者は，腕章を付けないのか？

➡ 作業開始前，服装をチェックでし，腕章着用を確認する。

イ 昇降台に，手すりを設置したほうがより安全ではないか（提案）

➡ 手すり付き昇降台の設置を検討する。

③ 香推パークポートコンテナターミナル視察

船内班及び沿岸班は巡視後，福岡市東区香椎浜ふ頭にある香推パークポートコンテナターミナルを視察した。

- 開 会 式 -



全 景



挨拶をされる野畑九州総支部長



挨拶をされる伊藤福岡労働局長



博多支部林田安全衛生指導委員長の発声による指差唱和

- 督励巡視結果発表等会議 -



巡視結果の等を行う佐々木団員・相羽団員



巡視結果に対するコメントを行う博多支部役員



講評をされる小野福岡労働局安全課長



閉会の挨拶をされる渡辺博多副支部長

IV 解団式（7月26日（金））

解団式は、博多港巡視結果発表等会議を終了した午後2時20分から福岡サンパレスにおいて行われた。

岩澤博多港安全衛生協議会会長の挨拶、笹田団長によるこの4日間の総括講評があり、次いで、当協会の白川業務・技術管理部長から藤木会長のメッセージを代読し、解団式を終了した。

その後、団員反省会及び意見交換会を行い、全日程を無事終了した。



挨拶をされる岩澤博多港安全衛生協議会会長



総括講評をされる笹田団長



メッセージを代読する白川部長

令和元年度主要港督励巡視解団式

藤木会長メッセージ

大変暑い中、4日間の主要港督励巡視を終えられ、誠にお疲れ様でした。

笹田団長を始め、団員の皆様のご活躍で立派な成果を収め、無事に終了されましたことに心から感謝申し上げます。

巡視結果発表等会議では、活発なご意見、ご質問やアドバイスがあったと聞き及んでいます。

お帰りになられましたら、今回の巡視で体得されました成果を各港での今後の労働災害防止活動に十分に活かし、港湾貨物運送事業における労働災害の撲滅に貢献されますことを期待いたします。

また、厚生労働省、各労働局の担当者の皆様におかれましては、各港において巡視にご同行の上、適切なご指導とご助言をいただいたことにも感謝したいと思います。

団員各位におかれましては、これからも厳しい暑さが続きますが、くれぐれも健康に留意してご活躍ください。

解団式に当たり督励巡視の成功を共に喜び、また、関係各位のご尽力に対し、改めて敬意と感謝の意を表しご挨拶といたします。

ありがとうございました。

令和元年7月26日

港湾貨物運送事業労働災害防止協会

会長 藤木 幸夫

V 団員写真（全員，博多港船内班・沿岸班の順。福岡サンパレスにて撮影）

